



講座コード K-8

リハ室でのリハビリ・一般病棟の看護
在宅訪問では何も起こらない？

アセスメントが患者も医療従事者も救う！

モニター・機器が少ない状況下 でのフィジカルアセスメント

～離床時の状況判断のコツ～

日時：2022年6月25日(土) 10:00～16:10

場所：インターネット生ライブ中継

見逃し受講期間
6月27日(月)～7月10日(日)

講師：黒田智也先生（日本離床研究会 学術研究部）

対象：看護師・PT・OT・ST・介護スタッフ（左記以外でも受講可）

受講料：会員 8,800 円（税込） 一般 9,800 円（税込）

※定員になり次第締め切り



なにげない患者さんの症状から異変を察知できますか？

集中治療室などと違って、あるのは体温計と血圧計、よくて SpO₂ モニターのみ…。この状況でなんだかいつもと違う…おかしい、そう思ったときあなたなら何を評価しますか？そして、もしその患者さんに新たな疾患が見つかったとき、起こしてよいか判断できますか？この講座ではモニター・機器が不十分な状況で起こりうる急変や病状の変化に備えるため“目からウロコ”のアセスメントポイントをベテランが伝授。もしそうなったときにも、落ち着いて対処し起こしてよいかの判断ができるスタッフを育成します。当会で人気のベーシック講座に続き、イラストとユーモア満載でお届けする新講座、いよいよ開催です！

起こってからではもう遅い！

急変を見落とさないためのアセスメントポイントをわかりやすく解説

— 新人の場合 —

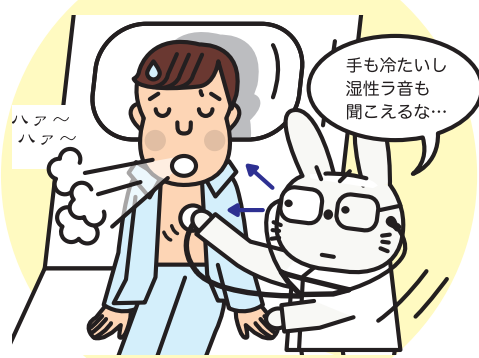


いつもと何かが違う…

訴えることのできない患者さん…
こんな症状をあなたは見逃していませんか？

苦しい 体を動かすと痛い
疲れる 意識レベル低下
けいれん めまい むくみ

— ベテランの場合 —



STEP ① 五感を使うことの重要性～声にならない訴えを理解する～

症状を見つける

STEP ② その症状はどこからくるのか？生理的な根拠から原因を考えてみよう

その原因を探索

STEP ③ 限られた機器とフィジカル所見から判断するアセスメントのポイント

どのくらいの緊急度？

STEP ④ いまトイレまで歩いて良いか？自覚症状出現時における離床可否判断基準

動かしていいの？

STEP ⑤ 急変と判断したときの初期対応と具体的な医師への報告の仕方

正しい状況判断と報告

※本講座はフィジカルアセスメントを使ったアセスメントのコツを学ぶ理論講座です。実技専門講座ではありませんのでご注意ください。

※この講座は、アドバイザー取得コースの理論系・実技系各1単位、計2単位を取得することができます。※学会発行書籍「フィジカルアセスメント完全攻略 Book」を予めご準備の上、講義にお臨みください。

【受講方法】

- 1 ホームページよりオンライン登録
- 2 添付の申し込み用紙に記入の上FAXまたは郵送
(申し込み用紙はホームページからもダウンロードできます。)

【問合せ・お申込先】

臨床を元気に! 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラールビル 2F
ホームページ <https://www.rishou.org/>
TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683
Eメール jsea@rishou.org

